



【1119島根県経営者協会・松江】

人が動くDX：

抵抗の心理×巻き込み設計

～変えない言い訳を捨てる-小さく試し大きく進む覚悟～

2025.11.19

## 株式会社タイヨー通信

タイヨー通信は1981年に設立され、当初はタクシー無線や業務用無線から始まりました。現在は防災行政無線、ネットワーク、ケーブルテレビ、監視カメラなど電気通信全般の工事・施工・保守を手掛け、山陰地域でIT社会のサポート企業として**地域密着型トップ企業**を目指しています。

**AI関連資格保有** Google AI Essentials、  
Google Data Analytics Professionalの  
AI資格保有、SAP認定コンサルタント

**セールス実績** のべ10万件の相対営業経験、  
2015年全国クリクラセールス5000名中  
1位のトップセールス実績

**スタートアップ/マネジメント 事業成長の実績**

顧客0件から5000件、事業メンバー3人から26人に成長。  
2019年クリクラキャンペーンにて全国3位の事業部実績

- 1 DX推進の本質と覚悟
- 2 なぜDXは進まないのか？社員の抵抗心理と解決策
- 3 小さく始めるAI活用の成功事例
- 4 DXの成果を「時間」で可視化する
- 5 安全なAI活用のための3つの主要リスクと対策

0

1

DX推進の本質と覚悟

DXの本当の目的とは？

---

ITツールは手段に過ぎません。

本質は、働く人がより価値ある仕事に集中できる時間をどう作るかです。

DXの成否は、ITツールの性能ではなく、  
業務プロセスの抜本的な見直しと、  
社員の働き方の再設計にかかっています

DXは、社員を幸せにするためのもの

---

AIさんいん

会社の利益追求はもちろん重要です。

しかしそれ以上に大切なのは、

「社員の残業を減らし、  
家族との時間を増やす」という視点です





「今のままでいい」という判断が、  
日々見えない損失を  
生み出し続けていることを  
ご存知でしょうか。

機会損失（経産省予測）

12兆円/年

2025年以降

## 見えないコスト②：社内で日々発生する損失

---

長時間残業

増加

人件費圧迫

属人的な作業

増加

業務停滞リスク

商機逸失

増加

競争力低下

02

# なぜDXは進まないのか？ 社員の抵抗心理と解決策

それは、  
変化に対する人の「心理的抵抗」です。

社員の不安や本音に寄り添う  
「巻き込み設計」が鍵となります。

Q. 今のままで  
十分回っているから、変えたくない

A. まずは身近な部署で小さく試して  
成功体験を共有し、  
安心感をつくる設計が有効です

Q. どうせ失敗するなら、やらないほうがマシだ

A. プロジェクトを小分けにして

リスクを最小化する設計で向き合います。

失敗しても影響の少ない範囲から始めましょう

Q. AIは怖い、信用できない…  
仕事を奪われるのでは？

A. AIはあくまで支援ツールであり、**最終判断は必ず人が行う**仕組みを説明し、安心してもらうことが重要です



Q. 情報漏洩やセキュリティは大丈夫？

A. 社内閉域ネットワークでの利用やアクセス制御の設計を具体的に説明し、安心感を高めます

Q. 紙文化が一番安心。電子化は不安だ

A. 電子化のメリットを体感させる小さな実践から始めます。検索性の高さなど、利便性を実感してもらうことが近道です

Q. 結局、トップダウンの指示で  
「やらされ感」しかない

A. なぜDXが必要か、その目的を経営者自身の  
言葉で語り、**現場の声を計画に反映する参加型  
の設計**で自分事に変えていきます

## 社員の本音⑦「社員がメリットを感じていない」

Q. 会社は儲かるかもしれないけど、社員にメリットないんじゃない？

A. なぜDXを行うか、社員の残業が減るから、家族との時間が増えます。金額ではなく時間でメリットを語ることで、社員がDXに主体性を感じることができる。

03

# 小さく始めるAI活用の成功事例

特別な知識は不要です。

まずは日常業務の一部を  
AIに手伝わせてみましょう。

音声認識AIで文字起こしを自動化  
会議の録音データをアップロードするだけで、AIが自動で文字起こしを実行。これまで数時間かかっていた議事録作成のレビュー時間を大幅に短縮し、すぐに次のアクションに移れます。

生成AIがビジネスメールの下書きをサポート

簡単な指示を出すだけで、AIが礼儀正しいビジネスメールの下書きを数秒で作成。ツールによっては1日1時間の節約も可能になり、より重要な顧客対応に時間を使えるようになります。



デザインツールAIがテーマに沿ったレイアウトを自動生成

キーワードやテーマを入力するだけで、AIがデザイン案を複数提案。デザイン知識がなくてもプロ並みの制作物が作れるため、外注コストと時間の削減に繋がります。

AIが要点からスライド構成案を自動出力

伝えたいことの要点を箇条書きで入力すれば、AIが適切なスライド構成を考えて自動で資料を作成。ツールによっては資料作成が10倍速くなると謳われており、企画や提案に集中できます。

○

文字起こし  
メール作成  
チラシ作成  
プレゼンテーション資料作成

04

DXの成果を「時間」で可視化する

投資対効果を「削減金額」で測ると、  
話が経営層で閉じてしまいます。

評価基準を「創出時間」に変え、社員の  
貢献を可視化しましょう。

## 時間換算マップ①：Before (従来業務)

まず、各部門の現在の業務プロセスと所要時間を洗い出します。

### Before (従来業務)

手作業でのデータ入力

紙書類の検索・共有

定型的な問い合わせ対応

## 時間換算マップ②：After (AI/DX化)

次に、AIやデジタルツールを導入して業務プロセスを改善します。

### After (AI/DX化)

AI-OCRで自動入力

クラウドで一元管理

チャットボットで自動応答

## 時間換算マップ③：創出された時間

その結果、どれだけの時間が生まれたのかを部署ごとに数値化します。

### 創出された時間 (年間)

経理部：120時間

営業部：80時間

総務部：150時間



05

# 安全なAI活用のための 3つの主要リスクと対策

# AI導入前に知るべき3大リスク

---

リスクを正しく理解し、備えることが信頼されるDX推進に繋がります。

1. 情報漏洩リスク
2. 誤情報（幻覚）リスク
3. 著作権リスク

## リスク①：情報漏洩

---

社員が公開AIに顧客情報や社内コードなどを入力してしまうと、機密情報が外部に漏れる可能性があります。

対策: AIを社内閉域環境に限定し、入力内容を記録・監視する仕組みを設けることが重要です

## リスク②：誤情報（幻覚）

---

AIが生成する回答には、事実に基づかない誤りやデタラメが含まれることがあります。

対策: 業務で活用する際には、必ず人間による  
検証プロセスを設ける必要があります。AIの出力を鵜呑みにしない仕組みを作りましょう

## リスク③：著作権

AIが生成した画像や文章が、意図せず他者の著作物を模倣・盗用してしまう可能性があります。

対策: AIに学習させるデータは**自社の制作データに限定**する、利用するテンプレートや資料はオリジナルのものを使うなど、データの厳選が重要です

- ・ 機密情報・個人情報**は絶対に入力しない**
- ・ 個人アカウントでの業務利用は禁止  
(会社アカウントを使用)
- ・ 出力結果は**必ず人が確認**して利用
- ・ 社内ポリシー・プライバシー設定を遵守

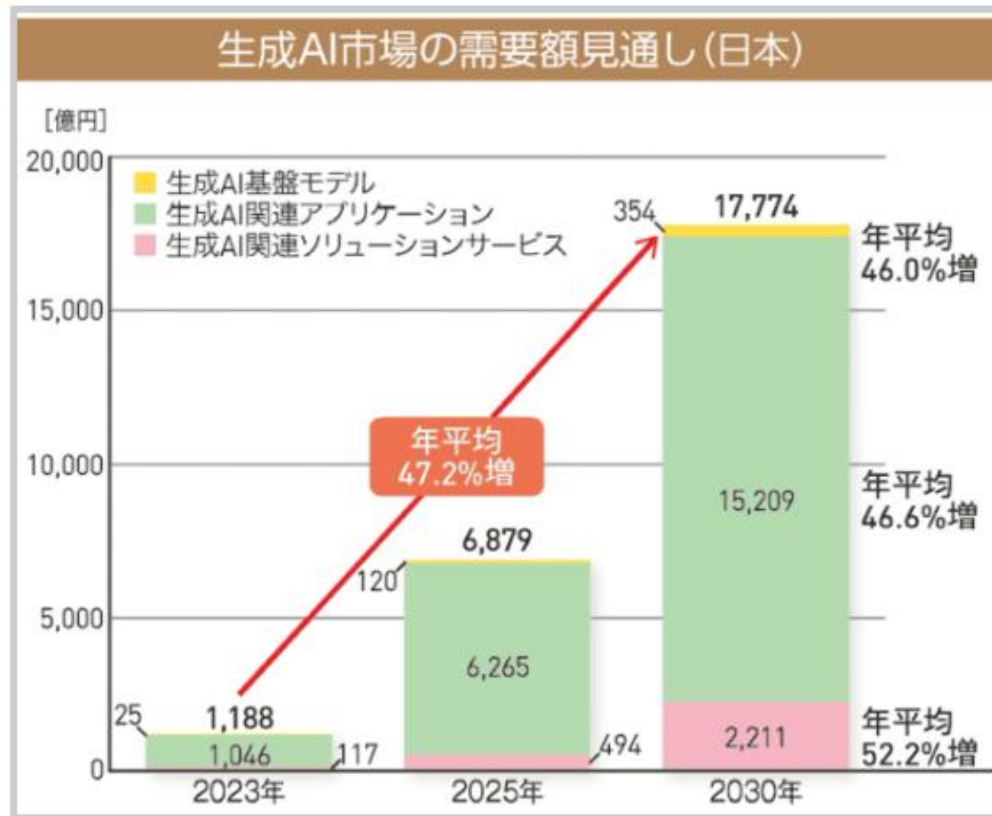
# AI市場の成長

AIさんいん

## 世界と日本のAI市場

2030年までに  
生成AI市場は、  
世界では現在の  
約**20倍**に、

日本市場も  
現在の**15倍**となると  
予測されています。



(出典：一般社団法人 電子情報技術産業協会)

AIさんいん

# 業務効率化ROIについて

頻出かつ相性の良い業務でAIを有効活用することで、大幅な業務効率化が可能

対象業務の例	AI活用方法	AI活用前	AI活用後
議事録作成	ツール導入により書き起こし・要約・Todo整理を自動化	30分	→ 5分
文書/サイトの要約・翻訳・校正	AIに対象文書/サイトと依頼事項を伝えると瞬時に対応	15分	→ 5分
サイト/資料のリサーチ・分析	数分で数十のサイトやPDFを横断し重要情報を自動要約	90分	→ 30分
Excel業務	分析方法や関数などをAIに相談し作業を効率化	60分	→ 30分
事業・商品等の企画書作成	コアとなる方針を伝えると企画書の叩き台を瞬時に作成	180分	→ 90分
プレゼン/営業内容・資料の作成	内容/構成の叩き台や改善のアドバイスを瞬時に回答	120分	→ 60分
業務設計・改善案の立案	業務設計や改善案の具体的なアドバイスを瞬時に回答	90分	→ 30分

※ ポストンコンサルティンググループ「職場における AI活用に関する意識調査 2024」

各業務で適切にAIを活用することで、  
1人あたり年間120時間～240時間の業務時間削減が可能。  
この成果は翌年以降も継続するため、費用対効果はさらに高い

AIさんいん



AIの研修はほとんどがWEB研修です。  
WEB研修は受け身の姿勢になり、質問も限られてしまうデメリットがあります。AI活用の社内ルール作成や社内ムードの醸成も難しく、AIの概要は理解できても個社特有の悩みの解決には繋がりにくい。

研修すること・ツールの導入がゴールではなく、  
『研修後にAI活用の文化が根差し、業務効率化・生産性向上』が  
真のゴールだと私は思います。

## AIさんいんの研修理念

AIさんいんは、**地域密着・対面サービスがコンセプト**。  
研修で終わり、ツールの導入で終わりではなく、  
導入後にAI活用が**職場に文化として根差し**、  
**求められる効果が得られるまで**  
**成果にコミットした小回りのきく伴走支援**を行います。

### 人材開発支援助成金（リスキリング支援コース）



国の助成金制度を活用すると、  
AIさんいんのエキスパート研修を**最大78.5%の助成**を受けて  
受講することができます！

06

まとめ

## まとめ と 質疑応答

「巻き込み設計」で、ぜひ皆様が  
社内の旗振り役となってください。

DXの本質は、社員のための時間を創り出すこと  
社員の心理的な抵抗に寄り添い、丁寧に対話すること  
小さく始めて成功体験を積み重ね、仲間を増やすこと

ご清聴ありがとうございました！  
右のQRコードから研修アンケートを  
ご記入いただきまして質疑応答の時間に移ります

本日の研修アンケートに  
ご協力宜しくお願い致します



AIさんいんの研修に関するお問い合わせ

TEL: 0859-27-1211 Email: iwanari@taiyo-jp.com

気軽にお問い合わせください

AIさんいん